

V 社会資本整備の優先順位

これまで、「選択と集中」を図りながら事業を推進するため、AHP法（階層化意思決定法）による事業・施策を超えた横断的な評価に基づく優先順位を設定し、社会資本整備の重点化と効率性・効果性の向上を図ってきました。

引き続き、地域の状況やまちづくりの将来像も勘案しながら、最適な資源配分による効果的なハード対策を推進するため、これまでと同様に、定性的な指標により評価することが可能なAHP法（階層化意思決定法）による相対順位付けを実施しました。

この評価結果に基づき、優先度を4段階（☆4つ～☆1つ）で設定し、予算配分の基礎資料として活用します。

1 評価結果

施策 優先度	安全・安心を支える 総合的な県土の強靱化		交流・連携を支える ネットワークの充実・強化		魅力的で持続可能な 社会を支える基盤形成	
	①防災・減災 対策の充実・ 強化	②安全で快適 な交通環境づ くりの推進	③経済・物流 を支える基盤 の強化	④集客・交流 機能の強化と ブランド力向上	⑤コンパクトで持 続可能なまち づくりの推進	⑥環境保全と 循環型社会の 構築
☆☆☆☆	防災A		経済A	集客A		
☆☆☆		交通A	経済B		持続A	
☆☆	防災B	交通B		集客B		
☆					持続B	環境A 環境B

※表中のAは、事業別整備計画において早期に事業効果を発現させるため集中的に取り組む事業箇所のグループを、Bは計画的・段階的に実施する事業箇所のグループを指す。

2 評価方法

(1) 評価対象

事業別整備計画の計画期間（令和3年度から令和7年度までの5年間）に実施が見込まれる補助公共事業及び国直轄事業

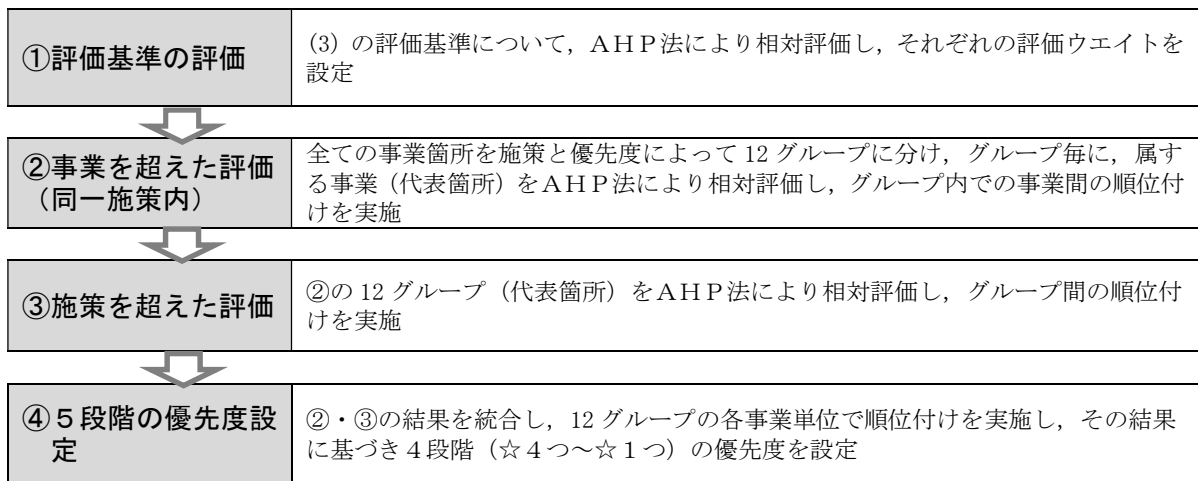
(2) 評価単位

項目	内 容
事業別 (8区分)	事業の種別に応じた8区分 ※平成30年7月豪雨災害関連事業は除く。 (1) 道路事業, (2) 街路事業, (3) 交通安全事業, (4) 河川事業, (5) 砂防事業, (6) 海岸事業, (7) 港湾事業, (8) 漁港事業
施策別 (6区分)	『社会資本未来プラン』に掲げた6区分（取組方針） ①防災 ～ 防災・減災対策の充実・強化 ②交通 ～ 安全で快適な交通環境づくりの推進 ③経済 ～ 経済・物流を支える基盤の強化 ④交流 ～ 集客・交流機能の強化とブランド力向上 ⑤持続 ～ コンパクトで持続可能なまちづくりの推進 ⑥環境 ～ 環境保全と循環型社会の構築
優先度別 (2区分)	事業別整備計画において事業優先度区分を踏まえて設定する予定の2区分 A ～ 早期に事業効果を発現させるため集中的に取り組むもの B ～ 計画的・段階的に実施するもの

(3) 評価基準

評価基準	内 容
事業効果	B/C（当該事業の費用と受益者側の便益との比）がどれだけ大きいのか
緊急性	課題解決や将来のリスク回避のために早期実施の緊急性（必要性）がどれだけ求められているか
実施環境	事業を計画どおり円滑に進めることができる環境にあるかなど、事業の実施環境がどれだけ整っているか
波及的影響	貨幣換算することが困難な効果・影響や、施策目標達成度・施策課題への対応に係わる事項など

(4) 具体的な評価手順



(5) 評価対象となる事業種別・施策別グループ

施 策	事 業 種 別							
	道路	街路	交通 安全	河川	砂防	海岸	港湾	漁港
①防災・減災対策の充実・強化	●	●		●	●	●	●	
②安全で快適な交通環境づくりの推進			●				●	
③経済・物流を支える基盤の強化	●	●					●	
④集客・交流機能の強化とブランド力向上	●						●	●
⑤コンパクトで持続可能なまちづくりの推進	●	●					●	●
⑥環境保全と循環型社会の構築							●	

《参考》AHP法（階層化意思決定法）について

1 階層化意思決定法（AHP法）とは

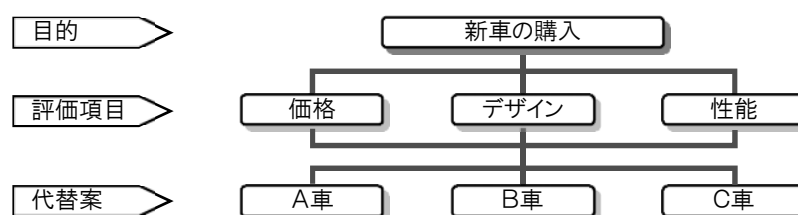
例えば、新車購入に際し、数値化が可能な「価格」のほか、数値化が困難な「デザイン」、数値化が可能なもの（馬力、燃費など）と困難なもの（乗り心地など）が混在する「性能」なども勘案しながら評価を行い、優先順位を付けることが可能な手法。

2 評価の仕方（例：新車購入）

(1) 評価項目の設定

新車の購入に際して、候補（代替案）である「A車」「B車」「C車」の中から選定することとし、「価格」「デザイン」「性能」を評価項目に設定。

図 新車の購入における階層構造図



(2) 目的に対する評価項目の重みづけ

ア 「評価項目」の重みづけ（価格やデザインのどちらに重きをおくか）、「代替案」の重みづけ（A車やB車のどちらが優れているか）に当たっての重要性の尺度を5段階で評価。

重要性の尺度	9	7	5	3	1
定義	極めて重要 (優れている)	かなり重要 (優れている)	重要 (優れている)	やや重要 (優れている)	同じように重要 (優れている)

イ 「価格」「デザイン」「性能」の3つの評価項目について、次のとおり一対比較を行い、その結果から、数学的処理により、「価格」「デザイン」「性能」のどの項目にどの程度重きを置いて評価するかを算出。

【質問例(ア)】新車の購入を判断する上で、どちらの評価項目がどの程度重要だと思うか。

【回答例(ア)】

評価項目	極めて重要 9	かなり重要 7	重要 5	やや重要 3	同じ 1	やや重要 1/3	重要 1/5	かなり重要 1/7	極めて重要 1/9	評価項目
価格			○							デザイン
価格				○						性能
デザイン					○					性能

(3) 評価項目に対する代替案の重みづけ

「価格」「デザイン」「性能」の3つの評価項目ごとに、「A車」「B車」「C車」の3つの代替案について、次のとおり一対比較を行い、その結果から、数学的処理により、「A車」「B車」「C車」の魅力度を算出。

【質問例(イ)】「価格」に関して、どちらの車がどの優れていると思うか。

【回答例(イ)】

評価項目	極めて重要 9	かなり重要 7	重要 5	やや重要 3	同じ 1	やや重要 1/3	重要 1/5	かなり重要 1/7	極めて重要 1/9	評価項目
A車				○						B車
A車				○						C車
B車					○					C車

(4) 代替案の総合評価（優先順位付け）

(2), (3) の結果から、数学的処理により、「A車」「B車」「C車」の3つの代替案の総合評点を算出し、優先順位付け。